



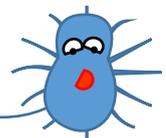
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の原因の多くはウイルスです。

症状は嘔吐や発熱ではじまります。嘔吐は1〜3日続き、遅れて下痢が3〜7日ほど続きます。

原因となるウイルスは、ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスが主なウイルスとなります。

治療は脱水の程度が軽く、合併症がなければ経口補水液などで治療します。



ロタウイルス

11月頃から増加し、3〜5月頃に流行します。抗ウイルス薬など特別な治療法はありませんが有効なワクチンがあります。ワクチン接種の効果で入院患者数は減少傾向です。

合併症として、けいれんや脳炎などがあるので注意が必要です。

症状：嘔吐・下痢(白っぽい便)

潜伏期間：1〜3日間

治るまで：約1週間

おいしくないけど
ガマン・ガマン



11月〜3月にかけて流行します。

この時期よく見られる胃腸炎です。乾燥した吐物から空気中に舞ったウイルスを吸い込んで感染することもあります。症状が消失したあとも、2〜3週間程度の間、便にウイルスが排泄されます。抗ウイルス薬やワクチンはなく、感染しても免疫ができないので何度もかかります。

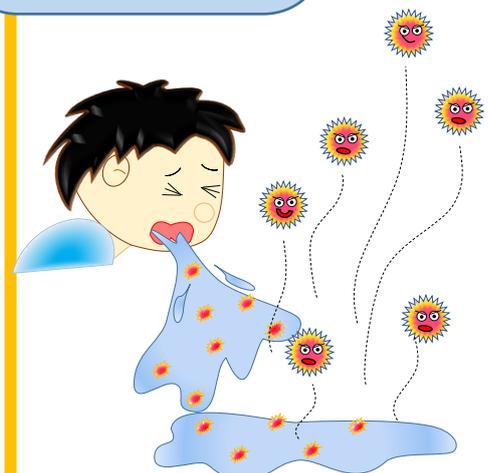
症状：嘔吐・下痢

潜伏期間：1〜3日

治るまで：約1週間



ノロウイルス



感染予防のポイント



下痢：便を扱った手から口の中にウイルスが入り感染します。しっかり手洗いしましょう。

嘔吐：吐物の処理は次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンやハイター）を使用しましょう。消毒用アルコールや石けんはノロウイルスには効果がありません。

消毒用アルコールや石けんでは効果はありません。

せっけん

ゆっくり経口補水療法を行いましょう。

嘔吐後、1～2時間はお腹を休めてスプーン1杯から水分摂取を開始します。

嘔吐がなければ少しずつ量を増やしていきます。

おすすめの水分：OS-1, アクアライトORS,
リンゴジュース, 母乳, ミルク
(いつもの濃さでOK)

おうちケアのポイント



手の洗い方



ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>